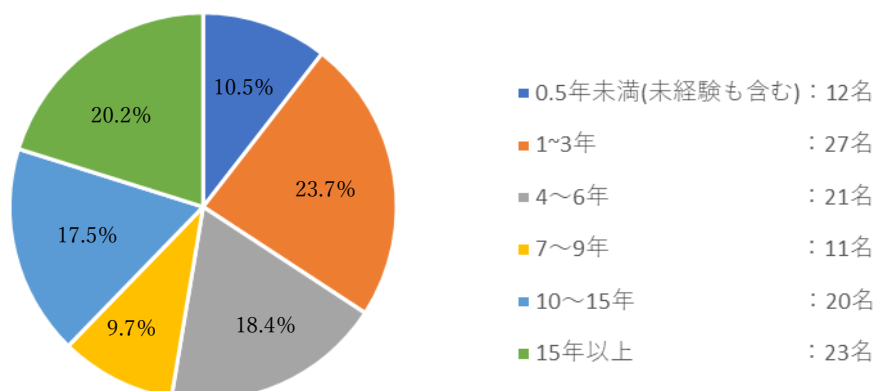


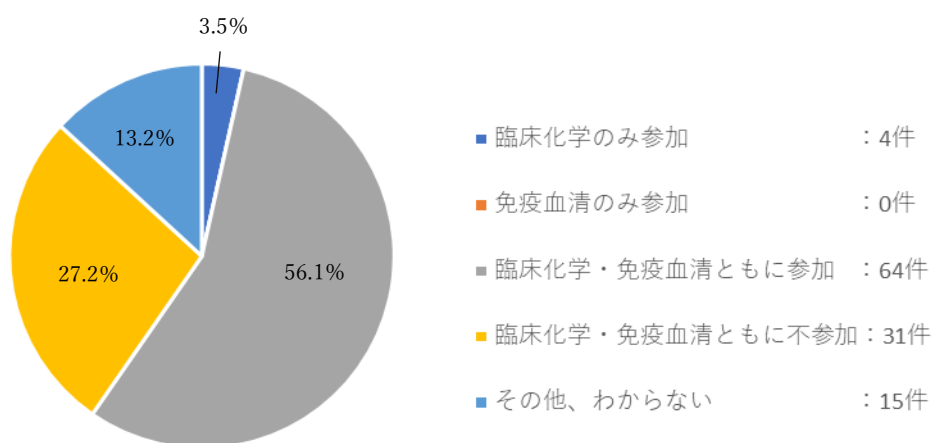
【オンデマンド配信】

アンケート1) 臨床化学・免疫血清検査経験年数



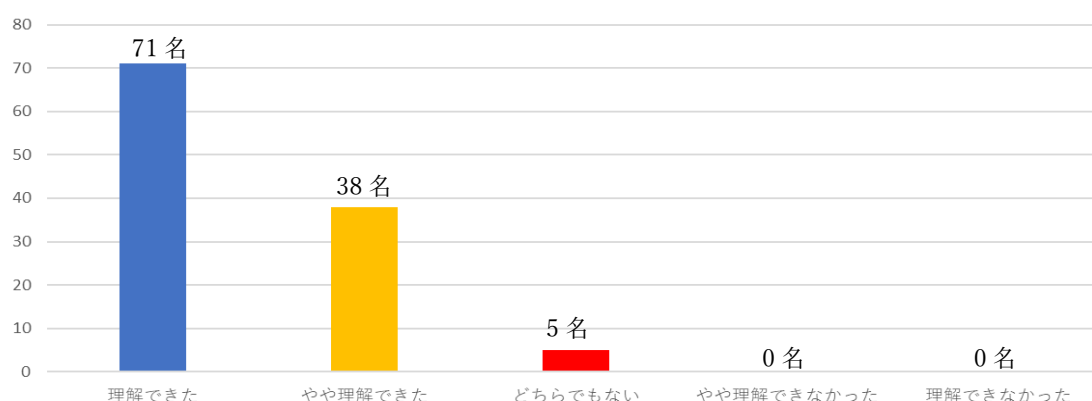
0.5年未満（未経験を含む）の方から生化学検査・免疫検査経験者の方、ベテランの方まで幅広くご参加いただきありがとうございました。

アンケート2) 所属施設の愛臨技精度管理調査参加状況



今回レポートを提出していただいた方の多くのご施設が臨床化学・免疫血清ともに愛臨技精度管理調査にご参加いただいていることがわかりました。

### アンケート3) 『令和4年度愛臨技精度管理調査報告』の講義に対する理解度



レポート提出 114 名中、9 割以上の方が理解できたとご回答いただきました。

### アンケート4) 本研究会のどのような点が特に役に立ちましたか（一例）

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

\*他県での精度管理調査のフィードバックをみることで試薬、検査法による差を確認することができました。また、ドライケミストリーに触れる機会がなかったので大変勉強になりました。

\*自施設はドライタイプの機器を使用しているが、サーベイ時に一部の項目でC、D判定が出るため、本研究会によって今後のサーベイでの機器タイプによる補正がなされる可能性に期待をしている。

### アンケート5) ご意見ご感想など（一例）

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

今回頂戴しましたご意見に対し、以下の通り、一部ご回答させていただきます。

**ご意見①**：意外にもドライケムの使用率が高かったので参考になりました。講演内容も素晴らしく、ドライケムの原理、活用法も知れて良かったです。災害時などにも必須になるので、検討してみようと思いました。

**回答①**：ご好評いただきありがとうございます。今後もトピックス項目や皆様のニーズに沿った内容の研究会が開催できるよう、班員一同努力してまいります。県内・県外会員問わずご参加していただけるよう継続を考えております。また、生涯教育点数の付与もいたしますので、皆様お誘いあわせのうえお申込みいただけますと幸いです。

ご意見②： BUN は少数点 1 位まで報告した方がいいですか？基準値は整数ですが…

回答②： 共用基準範囲は整数値ですので、小数点以下 1 位までの報告を推奨する意図はございません。各施設従来の流れで小数点以下 1 位まで入力されているところが多いのではないのでしょうか。基準値を変更するには、検査部だけではなく病院全体に関わってきますので、医師や病院と話し合い決めていただくのが良いかと思えます。

<まとめ>

2023 年 2 月研究会は昨年に引き続きオンデマンド配信にて実施させていただきました。事前申し込み 162 名に対して、114 名（うち県内 72 名、県外 41 名、非会員 1 名）の方がレポート提出してくださいました。

今回は『令和 4 年度愛臨技精度管理調査報告』をテーマに挙げ、今年度の愛臨技精度管理調査（臨床化学・免疫血清部門）の結果報告と、ドライケミストリーについて、初心者からベテランの方まで分かり易い内容でお届けさせていただきました。

アンケートでは、愛知県内に限らず、県外の方にも精度管理報告の様子をご覧いただき、ご好評・ご期待いただけているのを感じております。また、今後いつ起こるか分からない災害時に、ドライケミストリーがどのように役立つのか知ることができる良い機会となりました。

今回の研修会が皆様のご施設の精度維持・向上の一助となれば幸いに存じます。引き続き愛知県臨床検査技師会生物化学分析検査研究班をよろしく願いいたします。

以上

作成・回答編集・問い合わせ先：生物化学分析検査研究班

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 中央検査科

伊藤 綾香

TEL：052-721-7171

E-MAIL：emc2206@nagoya-cu.ac.jp